

高齢の治療手術も必要

中京骨や関節、専門医解説

健康生活講座「高齢者が気をつけたい運動器のはなし」(京都新聞社主催)が1日、京都市中京区の京都新聞文化ホールで開かれ、運動器を構成する骨や関節の病気、治療法について3人の専門医が解説した。

講座は年2回程度開催しており、この日は

健康生活講座「高齢

者が気をつけたい運動

器のはなし」(京都新

聞社主催)が1日、京

都市中京区の京都新聞

文化ホールで開かれ

た。運動器を構成する

骨や関節の病気、治療

法について3人の専門

医が解説した。

講座は年2回程度開

催しており、この日は

約300人が訪れた。

武田総合病院の森田

陸司院長は骨がもろ

くなる骨粗しょう症に

ついて「太ももの付け

根の骨折は寝たきり

の原因になる。目前

の骨折を防ぐため、

薬物治療もためらわ

ないでほしい」と話し

た。

関節の病気につい



骨や関節の病気や治療法を専門医が解説した「健康生活講座」(京都市中京区・京都新聞文化ホール)

手術が必要なのに引き延ばすとほかの部位にも影響する」と述べ、病院で適切な治療を受ける必要性を訴えた。

洛和会丸太町病院の盛房周平副院長は「昔の首や腰の手術は大きく切開して骨や筋肉も削っていたが、今はピンポイントで手術ができる」と話し、技術の進歩で体への負担が少ない方法を紹介した。(高橋晴久)

て、京都武田病院の藤岡幹浩副院長は「軽度のうちはストレッチや運動も有効だが、